

平成 20 年 9 月 29 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」

第 2 回議事録

開催日時：平成 20 年 7 月 28 日 13:30～16:20

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、伊香賀委員、小林委員、坂牛委員、清家委員、
榎本委員、恒次委員、中島委員、高村委員（記）

配布資料：

- 2-1 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 2 回 議事次第（五十田幹事）
- 2-2 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 1 回議事録（高村）
- 2-3 WG 検討事項・組織（案）（中島委員・恒次委員）
- 2-4-1 長野県（林務部）プレスリリース 平成 20 年(2008 年)2 月 18 日（五十田幹事）
- 2-4-2 長野県（林務部）プレスリリース 平成 20 年(2008 年)5 月 15 日（五十田幹事）
- 2-5 「建設資材・労働力需要実態調査」による建築木材投入量原単位（恒次委員）
- 2-6 文献リスト（小林委員）
- 2-7 地球温暖化防止行動としての木材利用の促進－1990 年 ITEC 発表論文から－（中島委員）
- 2-8 林野庁の補助事業について（恒次委員）
- 2-9 LCA 環境負荷分析（高村）
- 2-10 エコ住宅普及促進事業（高村）
- 2-11 委員名簿
- 2-12 地球温暖化 緩和技術とその評価（清家委員）
- 2-13 米代川流域エリア産学官連携促進事業「秋田スギ等地域材流通システムの構築」平成 19 年度報告書「建築用木材の資源循環フローの実態とライフサイクル分析」（清家委員）
- 2-14 H 林業視察記録（伊香賀委員）

議事：

(1)委員の紹介

坂牛委員の紹介があった。委員名簿の所属を修正する。(誤)社会開発工学科→(正)建築学科

(2) 前回議事録の確認

資料 2-2 の(8)今後の進め方の 1 行目を農水省・林野庁の補助金制度に修正し、5 行目の文章を削除する。

(3) 公募状況について (五十田幹事)

3 名の希望者に対してワーキンググループの分野の希望を伺い次回から参加して頂く。

(4) 設置申請書に記載した委員について

梅干野先生、小瀬先生、垂水先生の委員会への参加については浅野主査が確認する。なお、小瀬先生には委員会に、垂水先生にはワーキンググループ (バイオマスエネルギー利活用) に加わっていただく予定である。

(5) ワーキンググループの設置について (五十田幹事)

資料 2-1 にもとづき、ワーキンググループの内容について説明があった。木質材料の再生・利活用 WG (仮称) の名称については中島委員に次回までに決めていただく。また、地域的な情報を得るため浅野先生 (秋田県立大学) に加わっていただく方針で五十田幹事が本人の意向を確認する。

(6) 今後のスケジュールについて (五十田幹事)

資料 2-1 にもとづき、今後のスケジュールについて確認した。来年度の大会で本委員会がやらなければならないことについて五十田幹事に確認していただく。

(6) ワーキンググループ検討事項について (中島委員)

資料 2-3 にもとづきワーキンググループの検討事項・組織 (案) について説明があった。組織体制 (案) ②国外の森林面積 (樹木材積) 推移についての検討については麓氏に五十田幹事が依頼済み。対象規模は可能な限り地域的な検討も示すこととした。ワーキンググループメンバーに価値総合研究所の藍原氏が加わるところが認められた。

(7) メールタイトルについて

委員会に関する情報をメール配信する際のタイトルは「特別研究委員会__件名」とする。メーリングリストについて五十田幹事に確認して頂く。

(7) 情報提供

(7)-1 森林づくり県民税について (五十田幹事)

資料 2-4-1、2-4-2 にもとづき森林づくり県民税の説明があった。

(7)-2 「建設資材・労働力需要実態調査」による建築木材投入原単位について (恒次委員)

資料 2-5 にもとづき「建設資材・労働力需要実態調査」による建築木材投入原単位について説明があった。資料の原単価を原単位に修正。

(7)-3 文献リストについて (小林委員)

資料 2-6 にもとづき関連文献について説明があった。CCA 処理木材については本委員の主旨とは異なるため扱わない。簡単に手に入らない報告書などは pdf 化し学会のサーバーを利用して共有化する。

(7)-4 地球温暖化防止行動としての木材利用の促進について（中島委員）

資料 2-7 にもとづき木材利用と地球環境保全の相互関係について述べられた論文の説明があった。他の国際会議の論文についても今後調べていく方針とした。

(7)-5 林野庁の補助事業について（恒次委員）

資料 2-8 にもとづき林野庁の補助事業について説明があった。資料 2-8 における木質バイオマス利用促進整備について調査して頂く。

(7)-6 H 林業が行った LCA 分析について（高村）

資料 2-9 にもとづき、H 林業が行った LCA 分析結果について紹介があった。

(7)-7 エコ住宅、エコ・コミュニティなどについて（高村）

資料 2-10 にもとづき、エコ住宅普及促進事業、エコ・コミュニティ事業、環境共生住宅、戦略的情報通信研究開発推進制度の概要について説明があり、本委員会と関連性が低いことを確認した。

(7)-8 バイオマス利活用の LCA について（清家委員）

資料 2-12 にもとづき、バイオマス利活用のライフサイクルアセスメントについて説明があった。今後、関連情報について小林委員に情報提供して頂く。

(7)-9 建築用木材の資源循環フローの実態とライフサイクル分析について（清家委員）

資料 2-13 にもとづき、米代川流域エリア産学官連携促進事業報告書の資料編として収録されている論文について説明があった。パレットについて情報交換を行った。

(7)-10 H 林業視察記録について（伊香賀委員）

資料 2-14 にもとづき、林業と建設業の連携の紹介と林業視察結果について説明があった。

(8) 見学会について

清家委員から紹介いただいた秋田の見学会情報について五十田幹事からメール送信して頂く。

(9) 今後について

- ・ 今後 1～2 回は情報提供の会を設ける。
- ・ 当面はワーキングメンバーを含めた全体会議を行う。
- ・ ワーキンググループのまとめ方の方針について各ワーキンググループに検討して頂く。
- ・ 予算についてはワーキンググループの主査と幹事で決める。
- ・ ワーキンググループのメンバー表を作成する。
- ・ 海外事例についても情報提供する。
- ・ 野城委員や林氏からタグを付けた木材に関する情報提供をしていただく（中島委員）。

(10) 次回委員会について

- ・ 9 月 29 日（月）13:30～